

## 平成23年度市民満足度調査結果の概要について

### ○ 調査の概要

- (1) 目的 小矢部市に住んでいる市民が、市政の現状について、どのような満足感を持っているかを把握することにより、市民のニーズに対応した市政運営を目指す。
- (2) 対象者 満20歳以上の市民から無作為抽出した1,400人  
(回収人数は655人、回収率は46.8%)
- (3) 調査基準日 平成23年10月15日
- (4) 配布方法 アンケート用紙を郵送により配布する。
- (5) 回答期限 平成23年10月31日
- (6) 調査項目 第6次小矢部市総合計画に基づき、各種政策の満足度及び重要度並びに小矢部市に対する総合的な満足度等を調査する。
- (7) 活用方法 市民の満足度を評価指標として、第6次小矢部市総合計画に掲げた政策に対する市民の満足度を把握し、今後の市政運営に役立てる。
- (8) 結果の公表 市報及びホームページにて公表する。
- (9) 担当課 小矢部市企画室企画政策課

## ○ 回答者の内訳

## 問1 性別

	カテゴリ	発送者数 A	件数 B	構成比 (%)	返答率 B/A	前回 件数	前回 構成比(%)
1	男	646	290	44.3	44.9%	303	41.4%
2	女	754	349	53.3	46.3%	405	55.3%
3	NA		16	2.4	-	24	3.3%
	総数	1,400	655	100.0	46.8%	732	100.0%

## 問2 年齢

No.	カテゴリ	発送者数 A	件数 B	構成比 (%)	返答率 B/A	前回 件数	前回 構成比(%)
1	20歳代	156	45	6.9	28.8%	62	8.5%
2	30歳代	186	72	11.0	38.7%	94	12.8%
3	40歳代	187	85	13.0	45.5%	110	15.0%
4	50歳代	226	123	18.8	54.4%	157	21.5%
5	60歳代	285	166	25.3	58.2%	136	18.6%
6	70歳代以上	360	159	24.3	44.2%	169	23.1%
7	無回答		5	0.8	-	4	0.5%
	総数	1,400	655	100.0	46.8%	732	100.0%

## 問3 職業

No.	カテゴリ	件数	構成比 (%)	前回 件数	前回 構成比(%)
1	農林水産業	24	3.7	22	3.0%
2	自営業(商工サービス業)	39	6.0	54	7.4%
3	会社員・団体職員・公務員	220	33.6	273	37.3%
4	パート・アルバイト	83	12.7	72	9.8%
5	主婦	79	12.1	95	13.0%
6	学生	9	1.4	15	2.1%
7	無職	157	24.0	170	23.2%
8	その他	32	4.9	30	4.1%
9	無回答	12	1.8	1	0.1%
	総数	655	100.0	732	100.0%

## 問4 家族構成

No.	カテゴリ	件数	構成比 (%)	前回 件数	前回 構成比(%)
1	一人暮らし	29	4.4	35	4.8%
2	夫婦のみ	105	16.0	95	13.0%
3	親と子(二世帯同居)	230	35.1	306	41.8%
4	親と子と孫(三世帯同居)	238	36.3	230	31.4%
5	その他	45	6.9	59	8.1%
6	無回答	8	1.2	7	0.9%
	総数	655	100.0	732	100.0%

## 問5 居住年数

No.	カテゴリ	件数	構成比 (%)	前回 件数	前回 構成比(%)
1	1年未満	8	1.2	11	1.5%
2	1～5年未満	16	2.4	15	2.1%
3	5～10年未満	19	2.9	18	2.5%
4	10～15年未満	21	3.2	22	3.0%
5	15～20年未満	17	2.6	34	4.6%
6	20年以上	568	86.7	629	85.9%
7	無回答	6	0.9	3	0.4%
	総数	655	100.0	732	100.0%

## 問6 居住地区

No.	カテゴリ	発送者数 A	件数 B	構成比 (%)	返答率 B/A	前回 件数	前回 構成比(%)
1	石動地区	307	133	20.3	43.3%	170	23.2%
2	南谷地区	42	21	3.2	50.0%	18	2.5%
3	埴生地区	190	82	12.5	43.2%	93	12.7%
4	松沢地区	126	54	8.2	42.9%	56	7.7%
5	正得地区	62	25	3.8	40.3%	28	3.8%
6	荒川地区	88	49	7.5	55.7%	40	5.5%
7	子撫地区	46	21	3.2	45.7%	32	4.4%
8	宮島地区	26	14	2.1	53.8%	14	1.9%
9	北蟹谷地区	67	31	4.7	46.3%	36	4.9%
10	若林地区	66	36	5.5	54.5%	40	5.5%
11	津沢地区	141	66	10.1	46.8%	66	9.0%
12	水島地区	88	52	7.9	59.1%	41	5.6%
13	藪波地区	86	42	6.4	48.8%	58	7.9%
14	東蟹谷地区	65	24	3.7	36.9%	37	5.0%
15	無回答		5	0.8	-	3	0.4%
	総数	1,400	655	100.0	46.8%	732	100.0%

## ○第6次総合計画に掲げた政策ごとの満足度及び重要度について

### ■政策の満足度

「健康づくりの推進」「犯罪のないまちづくりの推進」に満足

「商業の振興」「雇用の安定」に不満

総合計画の40政策について、市民のみなさんの満足度を調査しました。それぞれ割合の高い5項目は次のとおりです。

(単位：%)

順位	「満足」の比率の高い項目	今回調査	前回調査	順位	「不満」の比率の高い項目	今回調査	前回調査
1位	健康づくりの推進	53.4	41.4	1位	商業の振興	56.3	21.4
2位	犯罪のないまちづくりの推進	50.8	28.0	2位	雇用の安定	55.6	44.0
3位	地球温暖化防止の環境づくり	50.7	47.0	3位	地域情報化の推進	55.0	14.1
4位	交通安全対策の充実	47.8	34.7	4位	企業立地の促進	54.8	38.4
5位	消防・救急体制の充実	45.2	36.8	5位	男女共同参画社会の推進	50.7	8.6

### ■政策の重要度

親雪・克雪の推進、児童福祉・高齢者福祉に重点を置くべき

第6次総合計画に掲げる40政策のうち、重要度の高い政策は、「親雪・克雪の推進」が80.9%と最も高く、ついで「児童福祉の充実」と「高齢者福祉の充実」となりました。

「雇用の安定」は、不満の割合が高い政策においても上位に挙げられており、市民の関心が高いことを伺わせます。

(単位：%)

順位	最も重点的に取り組むべき政策	今回調査	前回調査	順位	最も重点的に取り組むべき政策	今回調査	前回調査
1位	親雪・克雪の推進	80.9	75.1	6位	防災・危機管理体制の充実	74.4	67.1
2位	児童福祉の推進	79.1	74.0	7位	犯罪のないまちづくりの推進	74.2	74.4
3位	高齢者福祉の充実	77.3	74.2	8位	企業立地の促進	73.4	62.9
4位	雇用の安定	77.1	69.8	9位	健康づくりの推進	73.3	72.0
5位	地域医療体制の確立	76.9	77.3	9位	学校教育の充実	73.3	66.1

## ○政策ごとにみる「重要度」と「満足度」との関係

重要度と満足度のそれぞれについて、平均値(0.0)からのばらつきを指数化し、重要度と満足度との関係を4分類化したのが図表1である。

### 「A 重要度、満足度とも高い政策」

- 4 学校教育の充実      8 健康づくりの推進      10 地域ぐるみの福祉の推進  
 12 高齢者福祉の充実      14 社会保障の充実      28 地球温暖化防止の環境づくり  
 30 親雪・克雪の推進      31 生活環境の整備      33 消防・救急体制の充実  
 34 交通安全対策の充実      35 犯罪のないまちづくりの推進

### 「B 重要度が高く、満足度の低い政策」

- 9 地域医療体制の確立      11 児童福祉の充実      13 障害者福祉の充実  
 15 農業・農村の振興      16 地域産業の振興      17 企業立地の促進  
 19 雇用の安定      20 魅力ある市街地等の形成      21 道路ネットワークの充実  
 32 防災・危機管理体制の充実      40 新しい自治体経営の確立

「C 重要度が低く、満足度が高い政策」

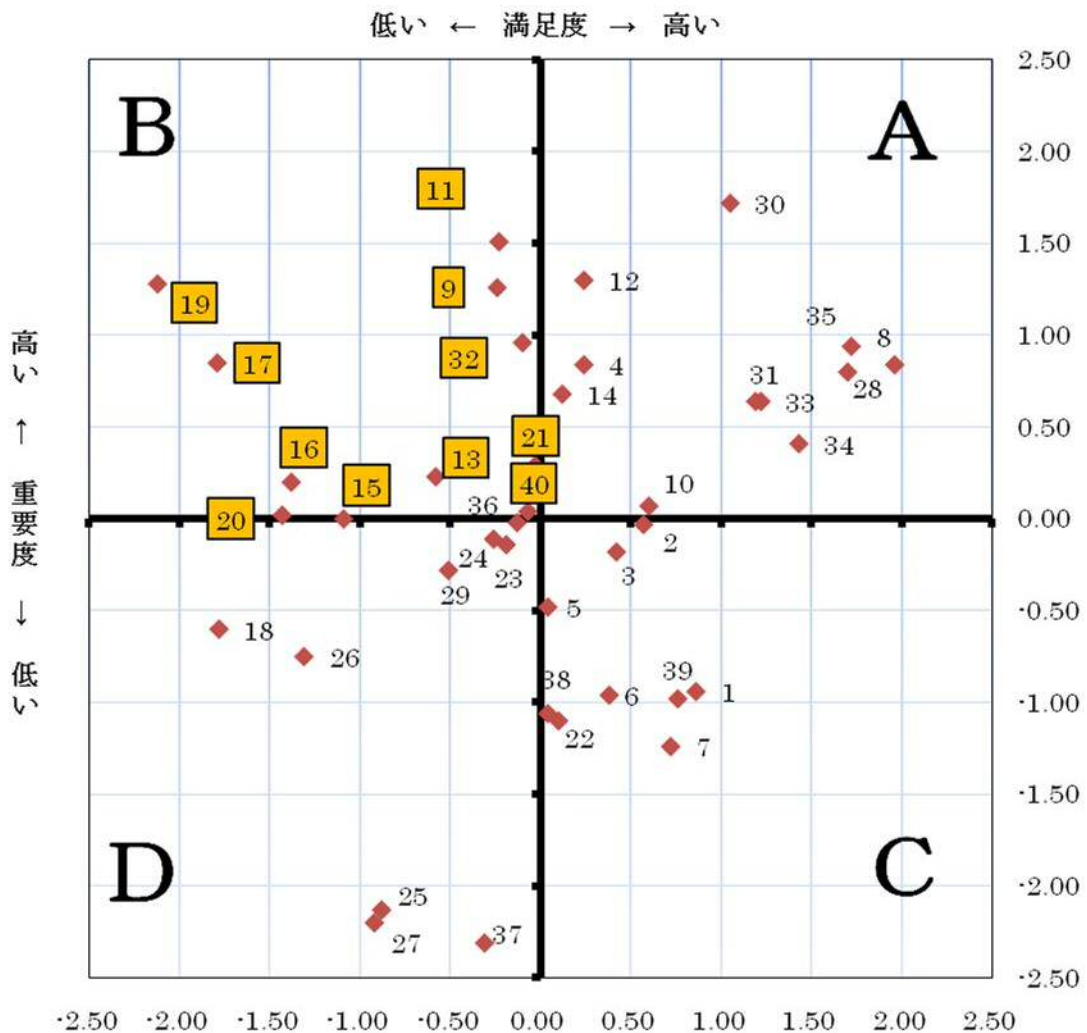
- 1 生涯学習の推進      2 生涯スポーツの促進      3 就学前教育の充実  
 5 青少年の健全育成      6 芸術・文化の振興      7 歴史遺産・文化財の保存と活用  
 22 公園・緑地の充実      38 人権の尊重      39 開かれた市政の推進

「D 重要度、満足度とも低い政策」

- 18 商業の振興      23 住宅・宅地の充実      24 交通体系の充実  
 25 地域情報化の推進      26 観光の振興      27 地域間・国際交流の推進  
 29 豊かな森の保全と活用      36 市民と行政の共同の推進      37 男女共同参画社会の推進

4分類の中で重要視すべきは「B 重要度が高く、満足度が低い政策」であり、小矢部市が喫緊に取り組むべき政策は、地域経済・産業に関する政策、子育てや医療など福祉に関する政策、そして防災・危機管理体制の充実と効率的な行財政経営に関する政策であるといえる。

図表1 「重要度」と「満足度」の関係



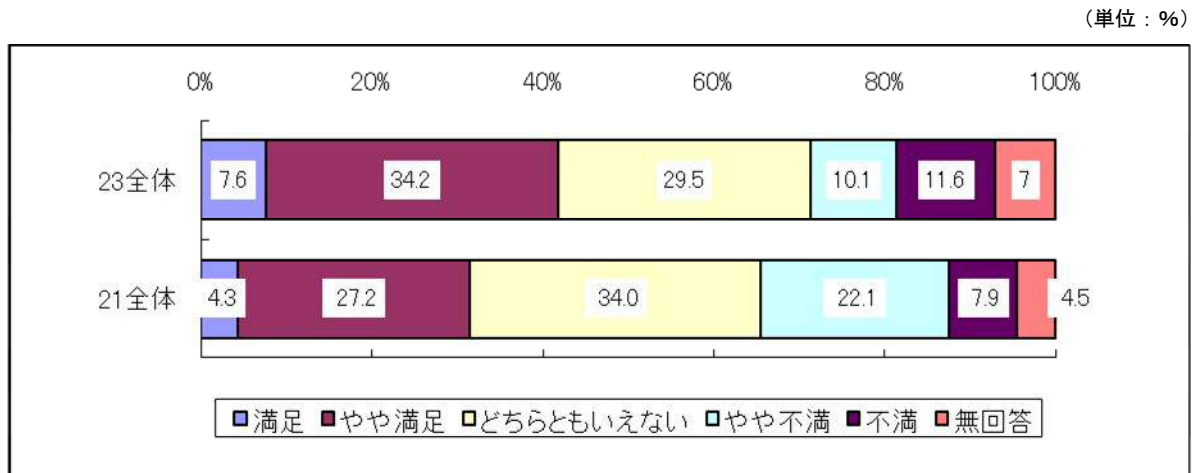
## ○ 小矢部市に対する総合的な「満足度」

問 小矢部市に対する総合的な満足度について評価してください。

現状の小矢部市に対する総合的な満足度について聞いた。

全体でみると、「満足」と「やや満足」の合計割合は41.8%であり、「不満」と「やや不満」の合計割合は21.7%である。小矢部市に対する総合的な評価は、前回調査（31.5%）よりも10%満足度が上昇した。

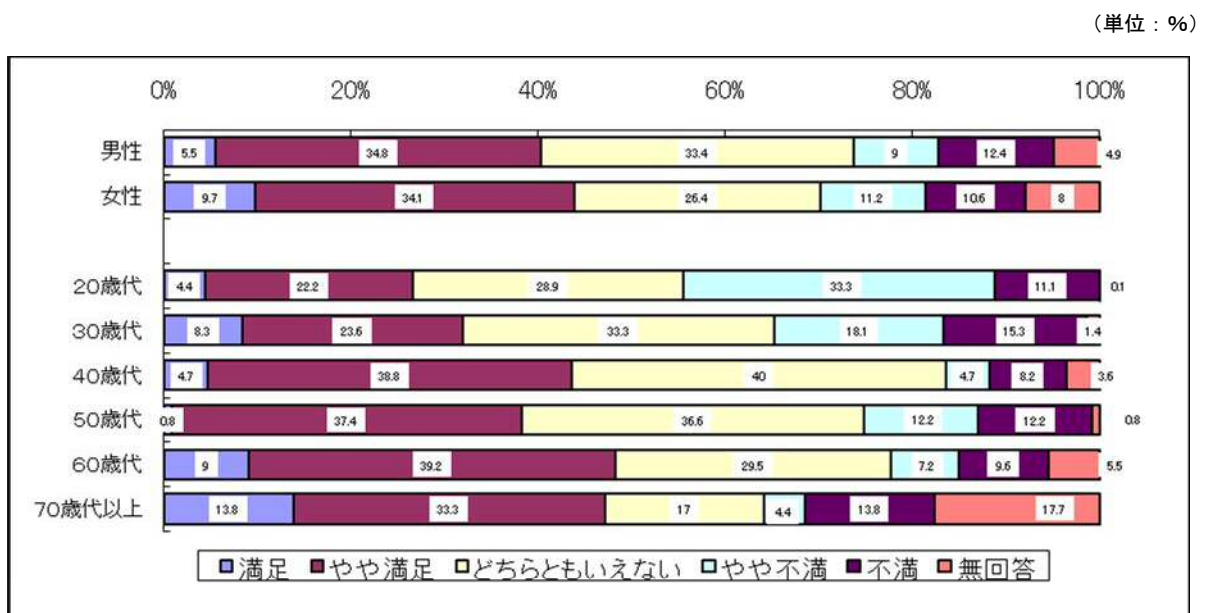
図表2 小矢部市に対する総合的な「満足度」



性別にみると、男性の満足度が40.3%で、前回調査（27.6%）より12.7%上昇した。女性の満足度は43.8%で前回調査（34.9%）より8.9%上昇した。

年齢別にみると、全ての世代で満足度が上昇し、40歳代、50歳代、60歳代で10%以上上昇した。ただ、20歳代が26.6%、30歳代が31.9%と他の世代と比較して満足度が低く、20歳代の「不満」と「やや不満」が44.4%と他の世代よりも高い割合となっている。

図表3 小矢部市に対する総合的な「満足度」(性別・世代別)



○ 人口増対策について

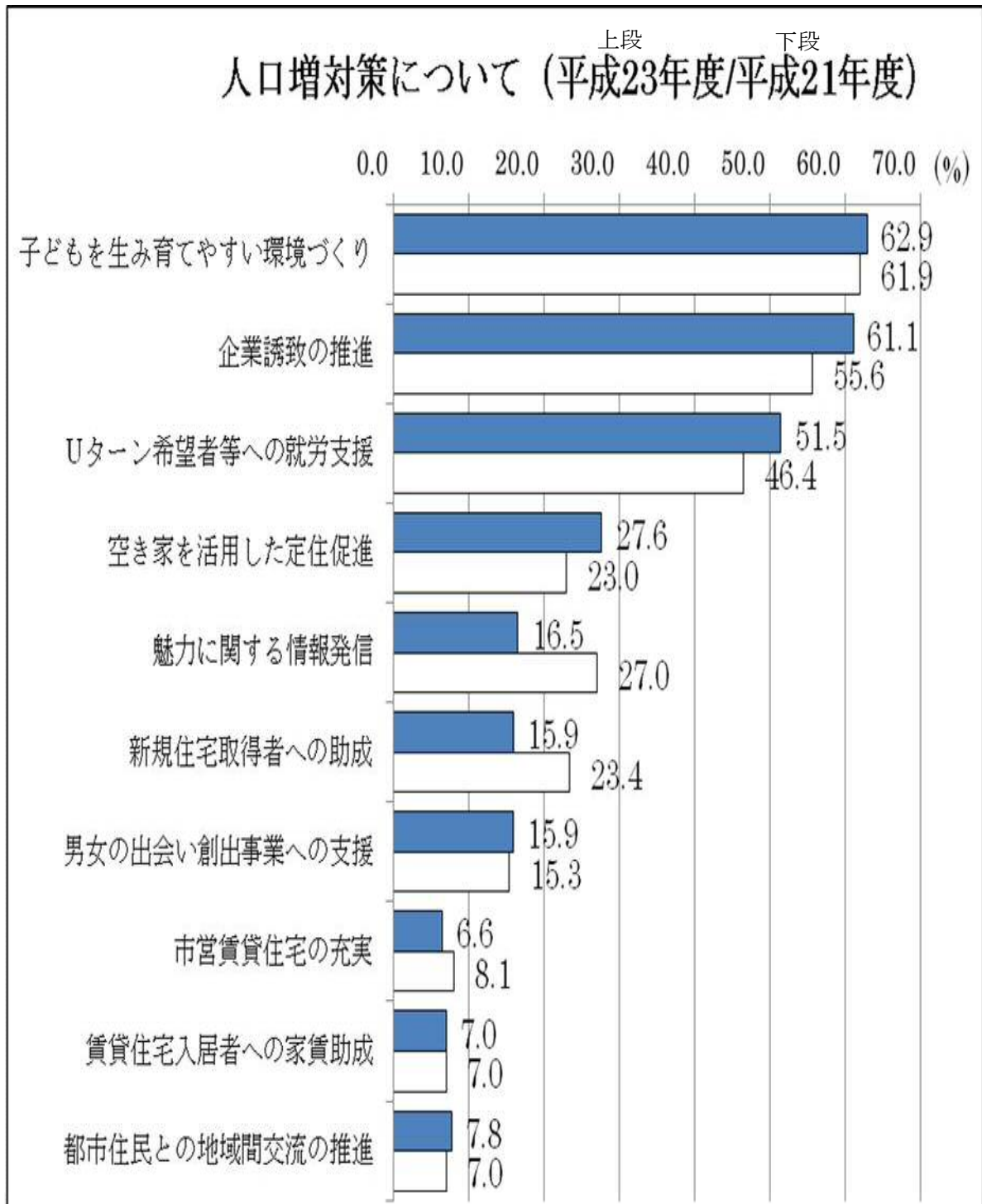
問 小矢部市が実施又は実施予定の人口増対策で、もっと充実してほしい施策は何ですか。

「子どもを生き育てやすい環境づくり」が62.9%で最も高く、次いで「企業誘致の推進」が61.1%、「Uターン希望者等への就労支援」が51.5%の順となっている。

なお、前回の調査と同様に、上位3政策については高い回答率となっている。

図表4 実施してほしい人口増対策について（複数回答）

（単位：％）





## ○ 小矢部市の暮らしやすさについて

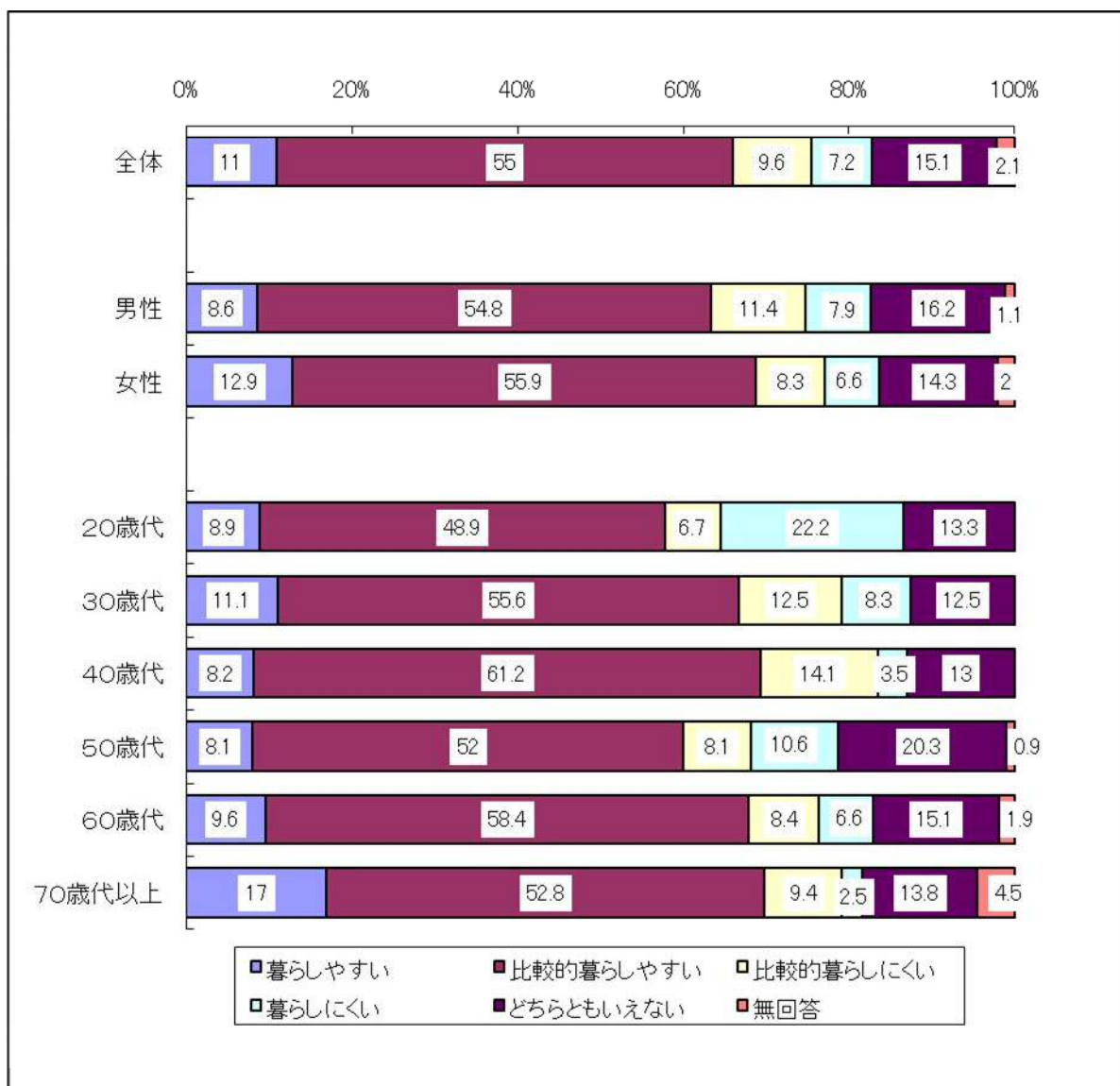
問 小矢部市は暮らやすいですか。

全体でみると、「暮らしやすい」と「比較的暮らしやすい」の合計割合は 66.0%であり、前回の調査に引き続き、肯定的な意見が6割を超えた。

性別及び年齢別にみても、「暮らしやすい」と「比較的暮らしやすい」の合計割合について、大きな違いはみられない。

図表 12 小矢部市における暮らしやすさについて

(単位：%)



## ○ 小矢部市での定住意識について

問 あなたは今後も小矢部市に住み続けたいですか。

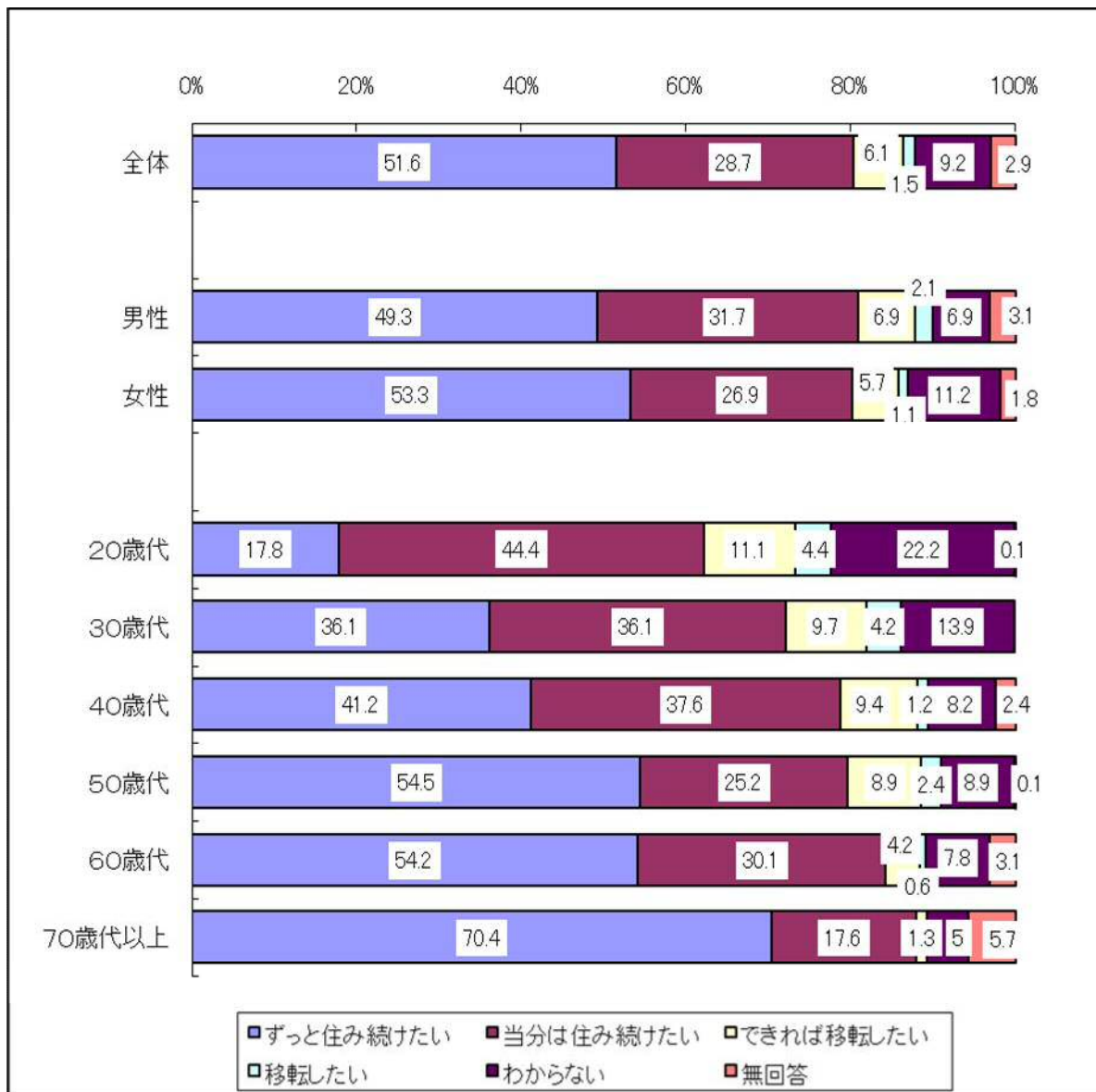
全体で見ると、「住み続けたい」と「当分は住み続けたい」の合計割合は 80.3%であり、肯定的な意見が 8 割を超える。これは前回の調査での合計割合（78.6%）とほぼ同じ結果であった。

今後の居住について、性別による大きな違いは見られない。

年齢別にみると、「住み続けたい」と「当分は住み続けたい」の合計比率は、70 歳以上では 88.0%と最も高く、次いで 60 歳代が 84.3%、50 歳代が 79.7%と年齢が若くなるにつれ低下し、20 歳代では 62.2%となっている。

図表 6 小矢部市での定住意識について

(単位：%)





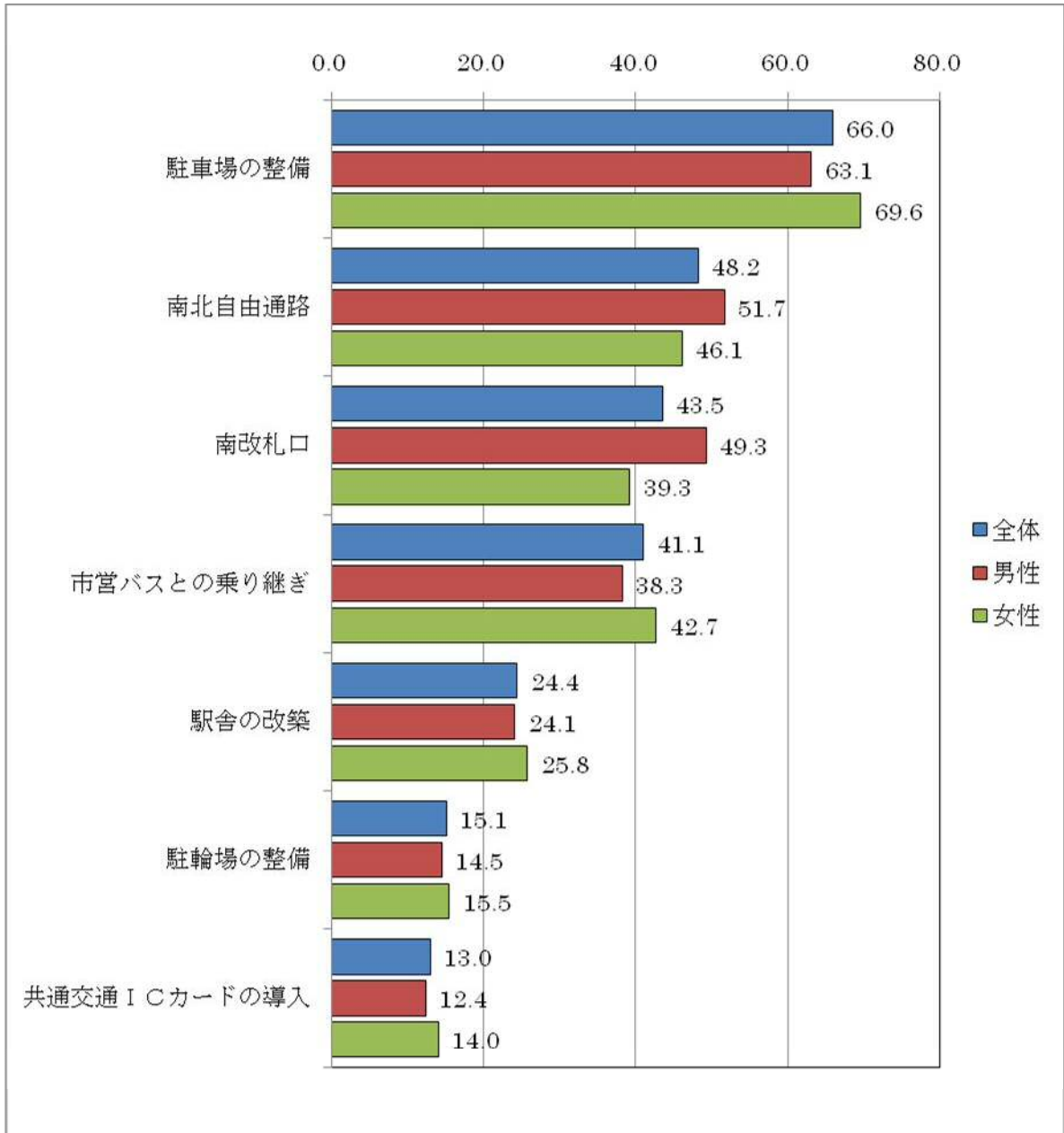
## ○ 石動駅について

問 小矢部市が実施又は実施予定の石動駅対策で、もっと充実してほしい施策は何ですか。

「駐車場の整備」が66.0%で最も高く、次いで「南北自由通路」が48.2%、「南改札口」が43.5%の順となっている。

図表7 実施してほしい石動駅対策について（複数回答）

（単位：％）

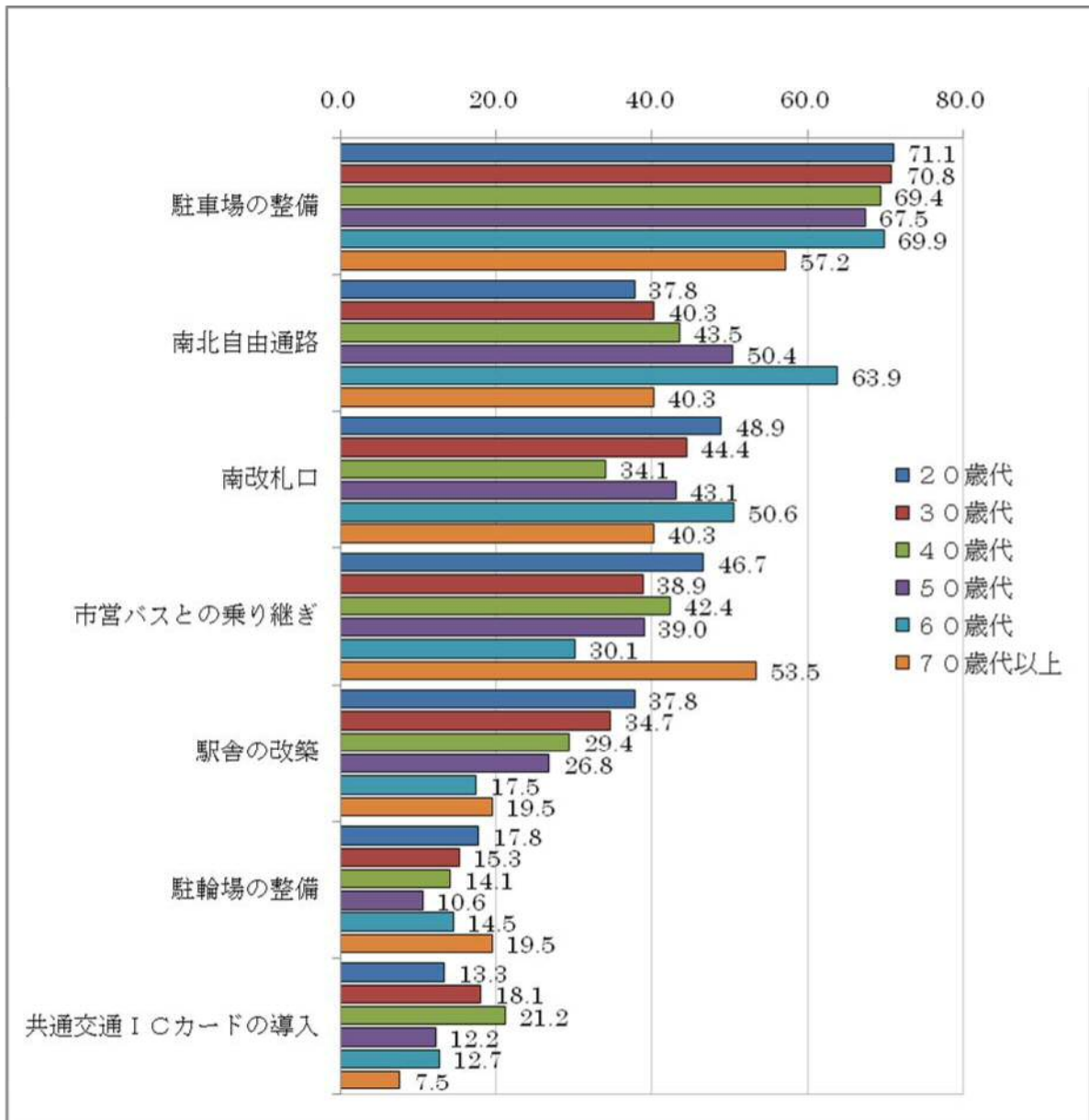


## ○ 世代別にみた石動駅対策

各世代ともに見受けられるのは、「駐車場の整備」が最も高く、20歳代では71.1%の割合となっている。また、60歳代での「南北自由通路」(63.9%)、70歳代での「市営バスとの乗り継ぎ」(53.5%)の回答割合が高くなっている。なお、「駐輪場の整備」や「公共交通ICカードの導入」については総体的に低い回答割合であった。

図表8 世代別にみる実施してほしい石動駅対策（複数回答）

（単位：％）



## 8 自由意見

今回の調査において、289件の意見・要望をいただいた。特に多かった意見としては、まちづくりに関する意見、企業等の誘致に関する意見、若者の雇用創出に関する意見、医療施設の充実に関する意見などであった。以下は、それらの項目ごとに無作為に抽出した意見（原文）である。

市政全般			
自分の反省も込めて、小矢部市民は一過性の取り組みには力を発揮するが、砺波市民の様な地味で着実性には欠ける。今後は一つの事に長期展望を持って取組む姿勢が大切である。	男	石動地区	70歳代
厳しい財政状況ではありますが、市民生活の安定のため、優先順位を明確にし推進して頂きたいです。	男	埴生地区	50歳代
健康づくりの推進に力を入れているように思う。特にガンに対しては、色々取組んでいると思う。富山市のように、一年に3、4回のウォークの推進を図ってほしい。	女	水島地区	60歳代
10年先の小矢部市の形をもっとアピールしてもらいたい。小矢部市の個性をもっと発揮してもらいたい。	男	水島地区	50歳代
誰の口からも、市民税が高いと言う話を聞きます。市財政の問題もあるかと思いますが、やはりこれらの不満を聞かないような市財政にならないものかと思えます。私も一市民として市に協力して、他市から羨む市造りに努力したいと思えます。	男	藪波地区	60歳代
上層部の企画よりも、市民の意思を重視して頂きたい。縄文サミットや源平祭りも良いのですが、老若男女皆が愛する伝統が沢山あります。これからよりも、これまでをもっとよく見て頂きたいと思えます。義仲と縄文には、無理があると思う。やっぱり加賀百万石に乗るべき。	男	石動地区	30歳代
厳しい財政状況であり、施策にも限度があると思えますが、無駄と思われたり、結果が推測されるものは、早々に決断して頂き、有効に財源を使い、小矢部市の活性化や飛躍に市民を巻き込んだ知恵出しをお願いします。	男	津沢地区	60歳代
他の市からみると税金が高過ぎるので(そう言う声を聞く)、市内より、他市へ移り住む人がいるのでは。	女	北蟹谷地区	50歳代
市役所の入口付近に、病院にあるような案内所を設置してはいかがでしょうか。	男	埴生地区	50歳代
市役所業務の土、日、祝日での充実を検討してほしい。(夜間時間含む。平日に行けない為) 市役所への問合せ番号として、フリーダイヤルを設置してほしい。	男	石動地区	40歳代
暮らしていて不満に思うことも多々ありますが、大好きです。ずっと住み続けたいと思っています。駅周辺の整備は期待しますが、利用するテナントや利用する人がいてこそ、と思えます。セットで考える必要はあるのでしょうか。予断ですが、この調査についてです。設問と選択項目がマッチしていないように感じました。市民向けと言うよりは、市役所内の調査のようにも感じました。現状の活動内容や実績が分からない所もあり、満足度については厳しい評価になったように思えます。	男	石動地区	40歳代
小さな子供(未就学前・小学生)の教育、成長について、相談するところが(対応)、他の市に比べて遅れていると聞いた。	男	水島地区	20歳代
市民課と社会福祉課に用事がある時、二ヶ所回らなければならないのが、不便です。一ヶ所で用事が出来ればいいなと思えます。	女	北蟹谷地区	50歳代
もっと若い世帯に今後必要な要望があると思えます。こらからの小矢部市に期待しています。	男	津沢地区	40歳代
石動駅			
石動駅の利用者を増やすには、駅南北自由道路の整備と、石動駅南に改札口の整備と、大きい駐車場の設置が必要と思えます。	男	藪波地区	70歳代
石動駅の駐車場を無料にして下さい。無料の駐車場のある駅を利用しています。	女	正得地区	60歳代
交通			
市営バスの小矢部全地区の運営。(山間地が省かれている)	男	北蟹谷地区	70歳代
小・中・高の交通安全に対して、市の協力を強化してほしい。特に自転車の登下校生のマナー、ルールが悪い。	女	荒川地区	50歳代
市の中をこまめに、バスを走ってほしい。	女	藪波地区	70歳代
スポーツ			
市内のスポーツ少年団や中学校の部活などについて、再考して頂きたい。統合(合併)などで、より強化したり、文化部も充実してほしい。ホッケーだけでなく、より多くのスポーツや、様々な活動にも力を入れるべきである。	女	藪波地区	30歳代
統合体育館があればいいですね。	女	石動地区	60歳代
クロスランドのウォーキングコースは非常に良いが、冬にも無料で利用出来る場所がほしい。(福岡町Uホール等は、体育館の2階がウォーキングコースとなっている)	男	松沢地区	60歳代
道路			
道路、融雪の整備が多く、通れない事が度々。道路を広くすると言った案が出ているようですが、高齢者が多いなか、次の暮らし場所の確保や家の購入など考えているのでしょうか。	女	石動地区	30歳代
大葬場への道路整備の推進。県内外の参列者が通る道路でもありまた、去り行く人生の道路としては、いささか寂しい。街路樹の植木など、環境美化に取組んで下さい。	男	藪波地区	60歳代

福祉医療			
産科、婦人科、小児科などの医療関係がなさ過ぎる。現在、砺波市に通院している。小矢部市役所と他施設の連携が悪い。電話をすと、担当が変わるたびに、初めから説明を求められるなど、少し不満。	女	津沢地区	20歳代
子供を産みやすい環境にして、安心して出産出来る病院があるといいです。小児科も増やしてほしいです。	女	埴生地区	30歳代
産婦人科がないのが不便です。道路や公園が絶対に必要な物であるのか。別にその予算を使い、もっと住みやすい町にはならないのかと思う。	女	埴生地区	30歳代
北陸中央病院に、産婦人科、小児科の開設。市婦人会について、加入していない地域が多くあり、市として成り立っているのですか。一度解散して、自治会の婦人部として全地域が加入出来ないか。	女	石動地区	60歳代
企業誘致等			
定年が60歳ではなく、65歳まで働ける職場がもっとあればいいと思います。	女	子撫地区	60歳代
企業、雇用の確保。活気がない。(暗い感じがする)	男	埴生地区	60歳代
まちづくり			
子供を持つ親としては、子育てしやすい環境づくりに力を注いでほしいです。保育園など預ける所は、その施設によって方針が違うからです。小矢部の人口を増やすには、働く所が少ないので、働く場を作ることです。。住む場所もそれに伴って増やして行けばいいと思います。	女	南谷地区	30歳代
年を取っても安心して暮らせる市を目指してほしい。福祉の充実をお願いします。	女	荒川地区	20歳代
人を呼び集められる商店、販売店、娯楽施設の誘致。	男	埴生地区	70歳代
小矢部市で、遊んで、食べて、楽しい行事を沢山行なう事で、人が集まると思います。	女	埴生地区	60歳代
高齢化対策、パークゴルフ場、図書館、体育館(ランニング、ウィーキング、トレーニングマシン)の設備、共同農園の拡張が近隣市町より劣っていることが多い。	女	石動地区	50歳代
買い物などの客が、砺波、高岡、金沢へと出て行くのは何故か、もう少し商工会の方も考えてほしい。物価が少し高いのでは。税金の面でも高いのでは。	男	津沢地区	60歳代
企業誘致により、人口、商業他が活性化して行くのではないかと思います。元気なお年寄りが沢山いらっやいます。ボランティア活動などの場を増やしてほしいと思います。	男	津沢地区	60歳代
少子化対策と若者の流出対策に力を入れ、人口のバランスを保ちながら、人口規模に合った先手の町作りを進めてほしい。発展社会でなく、継続・維持社会への対応が必要だと思います。	男	若林地区	40歳代
若い世代の友人に、「小矢部って、何もないよね」とよく言われる。楽しく遊ぶ所もないし、みんな、砺波、高岡、金沢に出る。子供を気軽に遊ばせれる、公園が少ない。スーパも病院も少な過ぎる。昔の古くさいきりだけ残っていて、若い世代には、苦痛なことも多々あります。	女	石動地区	30歳代
若者の住める町作りが必要。(先行人口増) 県外の人イメージでは、暗い、平成20年以降食事をする所がない、産婦人科がない。幹線道路(8号線)沿い道の駅周辺の開発、明るくし、通る車にPRする。駅周辺南北開発し、車窓から見える明るい町をPRする。	男	荒川地区	60歳代
砺波・高岡・金沢へ買い物へ行く人が多い。	女	埴生地区	60歳代
商店街の空き店舗が多過ぎるので暗いイメージだし、夜は真っ暗で歩けない。JRを利用しにくい。駐車場がない為、路上駐車してもいいとなっているが、(商店街)危ないと感じる。子供が飛び出して来て、ヒヤッとしたことがある。	女	石動地区	30歳代
新幹線の為、都市の景観が悪くなって、見慣れた風景(郷土)が悪くなっている事に心を痛めます。	女	松沢地区	50歳代
定住			
田舎だからと言う甘えがあるのではないのでしょうか。旅行と誤解されない範囲で、他の自治体の取り組みを視察に行かれてはどうでしょう。。市民は良いアイデアを沢山持っているの、市民の声に耳を傾けてほしいです。現在移転を考えています。なぜならば、将来が不安だからです。田舎の良さはありますが、結果若者は減って来ました。このままでは、高齢者と共に、果てて行くのではないかと思います。10年、20年後のことを考えて、大改革をお願いします。現時点で、小矢部で子供を産み育てるつもりはありません。	男	藪波地区	30歳代
今の所、色々なイベント等での人集めには、成功していると思われれます。それから市への定住化へ繋がればいいのではないですか。まだ表面での上滑り程度なので、もっと集まった人々の楽しかったが続けばいいなと思います。	女	藪波地区	50歳代
今春に引越して来たので、小矢部市の政策などが分からない事が多く、アンケートに「どちらとも言えない」に○を付けるのが多かった。安全で、静かで、住みやすいと思うが、買い物、食事に出掛けるなどの生活に関わる店が少ない事だけが不満である。	男	南谷地区	30歳代
その他			
クロスランドに新しい遊具が出来たことは、子供達にとって良かったと思います。クロスランドを大いに活用する為に、市だけではなく、近辺からの集客に期待したいと思います。	男	水島地区	50歳代
小矢部市のPRとして、飲食店で陶器製のメルギュークんの箸置きを使ってみてはどうでしょうか。製作は地元の陶芸家に依頼して、希望者は持って帰ることが出来る。	女	藪波地区	50歳代